

みんなのほくぶつかん **みんぱく**

MINPAKU

国立民族学博物館 ミュージアム・ショップよりご案内

南米からお届けします！ アルパカ製品と チュルカナスのやきもの

本館1階にあるミュージアム・ショップでは、博物館のコレクションをモチーフにしたオリジナルグッズのほか、世界各地から取りよせた多彩な工芸品を取りそろえています。今回は、冬の定番商品であるアルパカ製品とともに、アメリカ展示でも紹介されている、ペルー北部のやきものの産地、チュルカナスの作品をご案内します。ぜひご来店ください。

アルパカ製品

セーターなどの衣類のほか、帽子やマフラー、手袋などを取りそろえています。アルパカの毛 100% の品々は、ふんわり軽くて暖かです。



マフラー 3,700円
ベレー帽 2,200円
手袋 2,200円～

※金額はすべて税抜き価格です。
※友の会会員のみなさまは割引価格になります。

チュルカナスのやきもの

古代の土器づくりの技術を再興することで、1970年代に誕生したチュルカナスのやきもの。展示場でも紹介されているマネノ・ファレス氏の作品を取りそろえています。すべて1点ものです。



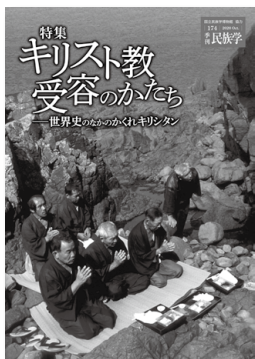
ボール 親子ねこ
3,500円
エケコ人形 男性
7,000円
フクロウ(大)
4,800円

お問い合わせ

国立民族学博物館ミュージアム・ショップ
email:order@senri-f.or.jp

国立民族学博物館友の会 機関誌 『季刊民族学』174号

特集 | キリスト教受容のかたち —世界史のなかのかくれキリシタン



有名な「聖フランシスコ・ザビエル像」が大阪府茨木市の山間の集落から発見されて今年で100年になる。その集落は、江戸幕府がキリスト教を禁止した後も、密かに信仰を続けていたかくれキリシタンの里だった。日本にキリ

スト教が伝来した大航海時代、日本ではその後、鎖国・禁教下でかくれキリシタン信仰が生まれたが、キリスト教の布教と受容のさまざまなかたちが世界各地にあった。世界史のなかでかくれキリシタン信仰を考えてみたい。

- 世界史のなかのイエズス会と日本布教 高橋 裕史
- 新大陸におけるキリスト教伝道と先住民 横山 和加子
- 聖トマスの恩寵 杉本 良男
- 近世日本におけるキリスト教の土着化とキリシタンの殉教 狭間 芳樹
- かくれキリシタンの信者と信仰 中園 成生
- キリシタン遺物から見る大阪・北摂地域のキリスト教受容 桑野 梓
- 歴史記憶としての殉教者 古沢 ゆりあ
- 再洗礼派とかくれキリシタン 踊 共二

ほか

ミュージアム・ショップ
にて販売中

友の会会員価格 2,000 円+税
一般価格 2,500 円+税

国立民族学博物館友の会では、ご利用にあわせてさまざまな会員種別をご用意しています。詳細は千里文化財団までお問い合わせください。

電話 06-6877-8893(平日9:00~17:00) https://www.senri-f.or.jp/minpaku_associates/